

健康と信頼をお届けする

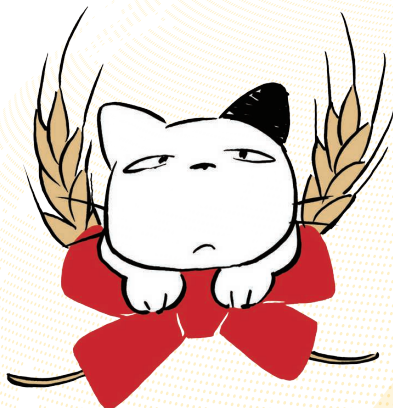


NNI Compass
for the Future

第180期 中間ご報告

株主の皆様へ

2023年4月1日から2023年9月30日まで



©Studio Ghibli

株式会社 日清製粉グループ本社

証券コード 2002



取締役社長 瀧原 賢二

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「信を万事の本と為す」「時代への適合」を社是に、「健康で豊かな生活づくりに貢献する」を企業理念として、事業を通じて社会貢献を果たし、食の中心企業として成長を継続していくことを目指しております。これを実現するために、現在、実行中の中期経営計画では、「事業ポートフォリオの再構築によるグループ成長力の促進」「ステークホルダーとの関係に対する考え方を明確にした経営推進」「ESGを経営方針に取り込み、社会の動きに合わせて実行」を基本方針に掲げ、スピード感を持って取り組んでおります。

今後も企業価値の極大化に努め、ステークホルダーの皆様から支持され続ける企業グループを目指していく所存ですので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月

2023年度上半期の業績について教えてください。

売上高につきましては、製粉事業における国内の麦価改定に伴う小麦粉価格改定の実施、熊本製粉株式会社の新規連結効果及び食品事業や中食・惣菜事業での製品価格改定の実施等により、増収となりました。

営業利益につきましては、各事業において前期にコスト上昇に対して価格転嫁が遅れた部分も含めた価格改定を実施するとともに、製粉事業における熊本製粉株式会社の新規連結効果、国内における副産物のふすま販売価格の堅調な推移、豪州製粉事業の前期の減損損失計上に伴うのれん等の償却費の減少及び中食・惣菜事業の堅調な業績等により、増益となりました。

2023年度通期の業績見通しについて教えてください。

2023年度通期の業績見通しにつきましては、上期までの売上高・利益の変動、及び前提となる為替換算レートの変更等による影響を反映し、売上高は8,500億円、営業利益は460億円、経常利益は470億円、親会社株主に帰属する当期純利益は300億円と、本年5月10日に公表した当初の予想を上方修正しております。

配当につきましては、年間配当予想を当初の予想から1円増配の42円とさせていただきます。これにより前年に比べて2円の増配、実質11年連続の増配となる予定です。

中期経営計画の進捗状況について教えてください。

中期経営計画の達成に向けて最優先で取り組むテーマを「一丁目一番地施策」としており、2023年度は、「事業ポートフォリオの再構築によるグループ成長力の促進」「食糧インフレへの対応」「豪州製粉事業の業績回復」「環境政策」「デジタル戦略」の5項目に注力しております。これらの施策の着実な実行により、2023年度の業績は中期経営計画の達成に向け順調に進捗しております。

	中期経営計画 基準年度 (2021年度実績)	2022年度 実績	2023年度 業績予想	中期経営計画 最終年度目標 (2026年度)
売上高	6,797億円	7,987億円	8,500億円	9,000億円
営業利益	294億円	328億円	460億円	480億円
EPS(1株当たり当期純利益)	59円	▲35円	101円	110円
ROE(自己資本利益率)	4.0%	▲2.4%	6.9%	7.0%

2023年度の「一丁目一番地施策」の進捗

①事業ポートフォリオの再構築によるグループ成長力の促進

当社グループとして、各事業においてどのように投資を実行していくのか、今期においてもしっかりと検討し、実行してまいります。

コア事業である国内製粉事業では、熊本製粉株式会社の買収、水島工場の新設投資などの必要な投資を進め、事業ポートフォリオを強化しております。熊本製粉株式会社については、統合によるシナジーの発揮に向け、各バリューチェーンでの取り組みを実施してまいります。また、水島工場は、最新の自動化、

デジタル技術を導入し、環境配慮型のスマート工場とする予定であり、2025年5月の稼働に向け新設工事も順調に進んでおります。水島工場で導入する最新の技術は、日本の他工場、さらには海外事業の各工場への展開も図っていく予定です。

成長事業である米国製粉事業では、市場成長に対応するために、生産能力増強を積極的に進めており、カリフォルニア州のロサンゼルス工場では2023年12月に増設が完了、テキサス州のサギノー工場では2024年冬に大型増設が完了する予定です。これらの増設により、米国市場の成長性を当社グループの収益に取り込み、高収益の維持、強化を図ってまいります。

また、インドでは2022年8月から新工場を稼働させ、イースト事業を開始しました。既に2022年度末にはインド市場でのシェアを約1割獲得しており、2023年度末にはシェア2割、中期経営計画の最終年度である2026年度末までにシェア3割を目指していきます。

②食糧インフレへの対応

世界的な食糧インフレに対応するため2022年度から当社グループの最優先事項として取り組んでおります。各事業ともコスト上昇に対応し、適切に製品価格の改定を実施させていただき



建設中の水島工場(2025年5月稼働予定)

ました。2022年度はコスト上昇が継続する中、コア事業を中心に製品価格の改定が後追いとなっておりましたが、2023年度上期中にコスト上昇に製品価格の改定が追い付いたことで、収益基盤を確保いたしました。

ウクライナ情勢は決着しておりませんが、本年10月には輸入小麦の政府売渡価格が3年ぶりに引き下げとなり、食糧インフレの山は見えてきております。今後は市場が回復していくことが期待される中で、これまでの環境（製品価格改定の後追い、需要の減退等）を逆回転させるチャンスと捉え取り組んでまいります。

③豪州製粉事業の業績回復

中期経営計画でお示ししました2026年度に2021年度対比で約40億円（償却費負担減少影響を除く）の増益目標達成に向けて、2023年度は、価格改定や生産性改善等の効果により、業績を回復させていきます。新型コロナウイルス感染症の影響による市場の変容やコスト上昇など、豪州市場は厳しい環境が続いておりますが、柔軟に様々な対策を講じていくことで、業績改善に向けた道筋を付けていくように下期も取り組んでいきます。

④環境政策

気候変動への対応として、对外公表した当面の目標である2030年度までに2013年度比でCO₂排出量50%削減について、ロードマップに基づいて進めていますが、今から毎年計画性を持って投資、コスト投入をしていかない限り実現できません。

2023年度はその布石を打てるように、戦略的な施策を検討してまいりました。その一つとして日本で消費される小麦粉の約1

割を生産し、製粉工場として日本最大規模を誇る鶴見工場において、オフサイトコーポレートPPA※と非化石証書を活用し、本年11月より使用電力を100%実質再生可能エネルギーに切り替えます（年間約27,000トン強のCO₂削減につながります）。



開発中のオフサイト太陽光発電施設

今後も各事業、各拠点において個別に施策を検討していきます。

※ 企業が遠隔地で発電された再生可能エネルギーを発電事業者から長期にわたって固定価格で購入する契約です。企業がCO₂排出量削減に貢献できるエネルギー調達手法として注目されています。

⑤デジタル戦略

当社グループは、「自動化・効率化」「標準化」「顧客提案力の強化」「販売チャネルの拡充」を柱に、AIやIoTを活用した生産、物流の改善、顧客への情報提供の迅速化や質の向上といった提案力の強化とそれらを可能にするデジタル分野でのスキルの高い人材の育成に積極的に取り組んでいます。

その中で、中食・惣菜事業の中核会社であるトオカツフーズ株式会社が、独自の生産管理システムを構築するなど、DXを活用した「ものづくり改革」に取り組んできたこと等が評価され、2023年9月に経済産業省が定めるDX（デジタルトランスフォーメーション）認定制度に基づき、中食・惣菜業界としては初となる「DX認定取得事業者」に認定されました。

(株)日清製粉ウェルナ



青の洞窟 Piccolino
魚介の旨味広がるアラビアータ

- たこと海老の旨味豊かな味わいに仕上げたアラビアータです。
- 簡単調理ニーズに応えるため、袋のまま電子レンジで調理できる製品としました。



青の洞窟 焼いたチーズが香ばしい濃厚ラザニア

- 牛肉と香味野菜の旨み広がるボロネーゼソース、ホワイトソース、パスタの7層構造です。



日清 からあげグランプリ® 最高金賞店 暴れん坊チキン監修 から揚げセット 甘だれ味

● 醤油の香りとチキンの旨みがきいた衣と、胡椒の後引く辛さが人気の甘だれが決め手です。

日清ファルマ(株)

「パーソナルニュートリション事業」を立ち上げ、パーソナルサプリメントサービス「ユアフィット」の提供を開始

- ライフスタイル分析により、お客様一人ひとりの生活習慣や健康状態にあったサプリメントをご提案。
- 管理栄養士による栄養カウンセリングが無償で何度でも受けられます。



お名前入り！



管理栄養士監修の「ライフスタイル分析」は無料でお試しいただけます！



栄養カウンセリング画面

株主様見学会のご案内

2024年3月：個人株主様 鶴見工場見学会のご案内

個人株主の皆様向けに日清製粉(株)鶴見工場の見学会を開催いたします。

株主様見学会は2023年9月30日現在で当社株式を500株以上所有の個人株主様を対象とさせていただきます。



開催概要

開催日時(予定) 2024年3月19日(火)
午前の部 9時00分～12時00分(JR川崎駅集合 8時30分)
午後の部 14時00分～17時00分(同 13時30分)

開催場所 日清製粉(株)鶴見工場：神奈川県川崎市川崎区大川町3-1
※当日はJR川崎駅集合、解散といたします。

参加費 無料(但し、集合場所までの往復交通費は参加者のご負担とさせていただきますのでご了承ください。)

募集人数 各回50名様(株主様ご本人とご同伴者様1名まで)
※お申込みが多数の場合は抽選の上、参加者を決定しますのでご了承ください。
※ご同伴者様は中学生以上とさせていただきます。

お申込みに際してのご留意点

- ・天候等の事由により、見学会の延期・中止、あるいは見学会の内容に変更等が生じる場合がございます。
- ・当工場はバリアフリー対応となっております。
- ・施設見学は徒歩で1時間程度を予定しており、見学通路には階段の昇降箇所がございます。
- ・当社が見学会で撮影した写真は社内報、株主報告等に掲載させていただく場合がございます。

応募方法

応募葉書に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

応募締切り
2024年1月5日(金) 必着

※応募葉書は2023年9月30日現在で当社株式を500株以上所有の株主様にお送りしております。

お問い合わせ先

(株)日清製粉グループ本社
「工場見学会」係

☎ 0120-087-078

※平日9:30～17:30(土・日・祝日及び年末年始を除く)
※上記お問い合わせ先は、2024年3月19日(火)までご利用いただけます。

個人情報の取扱いについて

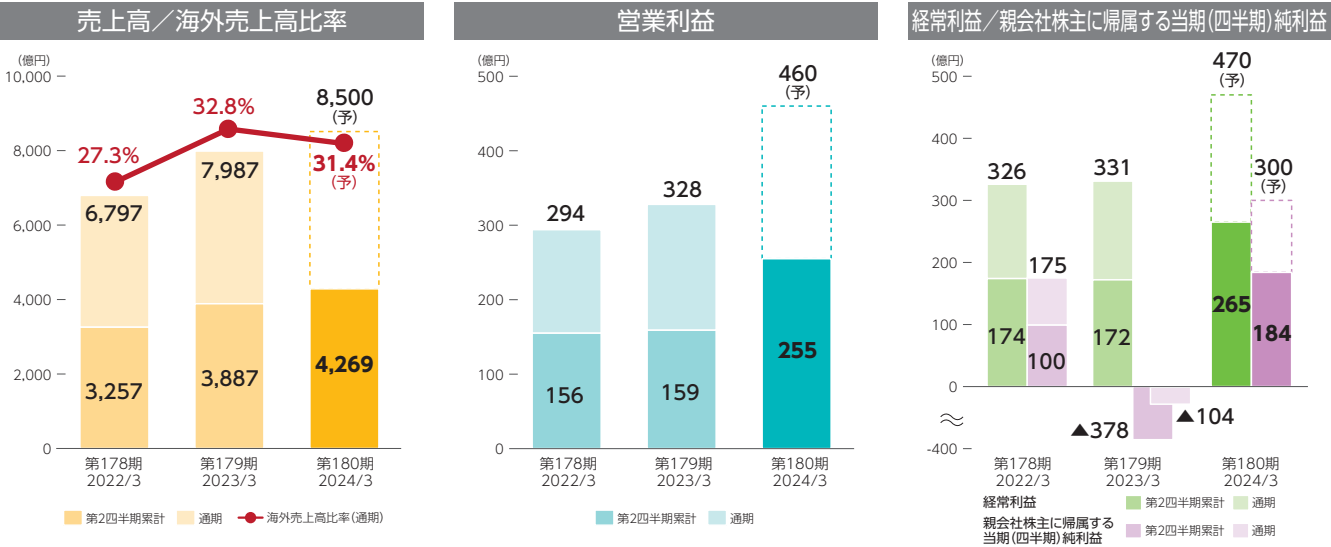
今回ご応募いただきました株主様及びご同伴者様の個人情報は見学会の実施以外の目的では使用いたしません。

財務ハイライト

■ 主要連結財務データ

	第178期(2022年3月期)	第179期(2023年3月期)	第180期(2024年3月期第2四半期)
売上高	6,797億円	7,987億円	4,269億円
海外売上高	1,859億円	2,617億円	1,324億円
海外売上高比率	27.3%	32.8%	31.0%
営業利益	294億円	328億円	255億円
経常利益	326億円	331億円	265億円
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	175億円	▲104億円	184億円
1株当たり当期(四半期)純利益	59円	▲35円	62円
総資産	7,231億円	7,139億円	7,664億円
純資産	4,606億円	4,385億円	4,847億円
1株当たり純資産額	1,510円	1,425円	1,578円
1株当たり年間(中間)配当金	39円	40円	21円

(注) 記載金額は、億円未満(1株当たり指標は円未満)を四捨五入して表示しております。



(注) 1. (予)は2023年10月27日に発表した業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)であります。
2. 予想数値については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

会社概要 (2023年9月30日現在)

- 商号 株式会社日清製粉グループ本社
- 本社 東京都千代田区神田錦町一丁目25番地
- 創業 1900年10月
- 資本金 17,117,856,746円
- 役員

代表取締役 取締役社長	瀧原 賢二
代表取締役 取締役	増島 直人
取締役	伊藤 裕朗
取締役	鈴木 栄一
取締役	山田 貴夫
取締役	岩崎 浩一
取締役	岩橋 恭彦
取締役*	伏屋 和彦
取締役*	永井 素夫
取締役*	遠藤 信博
取締役 監査等委員	大内 章
取締役* 監査等委員	富田 美栄子
取締役* 監査等委員	安藤 隆春
取締役* 監査等委員	金子 寛人

※は社外取締役であります。

株式の状況 (2023年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 932,856,000株
- 発行済株式の総数 304,357,891株
- 株主数 36,394名(前期末比3,403名減)

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 期末剰余金配当(利益配当)基準日 3月31日
- 中間配当基準日 9月30日
- 定時株主総会 6月
- 公告掲載方法 電子公告により、当社ウェブサイト (<https://www.nisshin.com>)に掲載。但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 同連絡先 (郵便番号168-0063) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間：平日9:00～17:00

(お知らせ)

●株式に関する諸手続のお申出先について

株式に関する各種お手続(ご住所等の変更、配当金のお受け取り方法の指定、単元未満株式の買取・買増請求等)のお申出先は、次のとおりとなっておりますのでご注意ください。

1. 証券会社等で口座を開設されている株主様 → お取引のある証券会社等へお申し出ください。
※払渡期間経過後の配当金のお受け取り、特別口座に記録されている単元未満株式の買取・買増請求につきましては、三井住友信託銀行株式会社へお申し出ください。
2. 特別口座に記録されている株主様 → 三井住友信託銀行株式会社へお申し出ください。

■株式分布状況(所有者別)



株式会社 日清製粉グループ本社

東京都千代田区神田錦町一丁目25番地
URL <https://www.nisshin.com>



見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。